

まちづくり懇談会議事録

日 時：令和 3 年 11 月 22 日（月）18：30～19：48

場 所：富士中央公民館

出席者：11 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配付資料確認および日程説明

3. 懇談

（1）第 7 次総合計画の策定について（別紙 1・2 参照）

（2）自由懇談

4. その他（情報提供）

（1）国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（別紙 3 参照）

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：あまり広範囲に説明されても、どこから言ったら良いのかよく分からない部分はあるのですけど、御大師山、栗山公園の話があったかなと思うのんですけど、たしか数年前にスキー場が閉鎖になって、その後どのように跡地を利用していくかという話があったのか無かったのか、記憶がないものですから、もしその後の利用等何かお考えがあるなら聞かせていただきたいと思います。

町長：はっきりとしたスキー場跡地の活用計画は今のところありません。その中で、御大師山の全体的な整備構想を立てていて、色々な取り組みをここ数年やっていて、1つは頂上にあった展望台です。老朽化のため危険になっていましたので、あれを壊して少し下の部分、見晴らしの良いところに展望台を作ったということがあります。それと散策路が非常に入り組んでいましたので、それをしっかり整備してガイドブックを作るというような取り組みをしてきました。そのような中で、これから今年と来年、第 7 次総合計画の策定の議論をしていく中で、スキー場の跡地についてどのような活用方策があるかというところは、しっかり検討していきたいなと思っています。先日、別の懇談会の中では、スキー場を廃止にしたというのは、やはり利用者数が減ってきたということと、後はリフトなどの更新費用が多額にかかるということ、それと北長沼というすぐそばに利用できるスキー場があって、子ども達のスキーができる環境、多少不便にはなりますけれども、環境が守れるという理由から廃止をさせていただいたのですが、あまりお金をかけられないことは分かっているけれども、例えば栗や桜の木を植えて、ちょうど国道から見えるように景観を整えたらどうかというようなご意見もありました。そうすると、御大師山を含

めた栗山公園の集客力の向上に一つ繋がっていくのではないかというお話もありましたので、これからいろいろと議会からもお話があるかと思うのですが、それを踏まえてどうしていくかを検討していきたいと思います。

町民：僕の娘が今年家に戻ってきました、色々なところを学生時代に生活して、戻ってきたのですけれど、色々なところで秋の紅葉を見るのが好きで歩いているけれど、栗山公園の御大師山の紅葉がいつ帰ってきても、1番綺麗だねということを言っていましたので、ぜひまた自然に戻してあげられるのであれば、スキー場も御大師山の一角ですので、きれいな景観、自然の形の景観が少しでも増えれば良いかなと思っています。

町民：まちづくりとは関係ないですけれども、レンガ倉庫の南側の駐車場は、町のものですよ。今の段階で、レンガ倉庫内の活動はまだ先だと思うけれど、あそこは自由に駐車に使っても良いのでしょうか。

建設総括：あそこは、一応レンガ倉庫も含めた周辺整備ということで駐車場の整備をさせていただきましたけれども、町の駐車場ですので、停めていただく分については全然構わないかなと思います。ただ、あの辺を利用する時に使っていただきたいと思いますが、車をずっと置きっぱなしにされるということではなくて、周辺を利用する時、駅やバスを利用する時、何かイベントのある時に利用していただいて構わないというふうに思っております。

町長：今、あの駐車場の西側に広場が開いていてそこも整備していくのですけれど、公園としては、来年になろうかと思えますけれど、子ども達が遊べる場というか、若い方が来て遊べる場があまり栗山にはないので、スケートボードですか、オリンピックでも人気ありましたけれど、そういうものとか、バスケットボールで、スリーオンスリー（3人制）のバスケットができるようなコートを整備したいというふうに思っていて、施設を利用していただくというのも目的の一つですけれど、あの辺にもっと若い方が集まってくれて、賑やかになってくれれば良いかなというふうに考えていますので、そのようなところと駐車場とを整備して、駐車場ではこれまでの懇談会でも、例えば、農産物の直売場を常設したら良いのではないかと、土日だけ農業者の方と施設がタイアップして集客力を上げるよう取り組みをしたらどうかというご意見が数多くありますので、そこはぜひ取り組んでみたいというふうに思っています。

町民：北広島市のFM局と札幌のカロスというFM局をたまに聞いているのだけれど、今回、レンガ倉庫にそういうFM局ができるという面では、どういう番組が取り上げられるのか期待は持っているのです。自分が北広島市役所の情報を聞いても、別に関係ない情報なのだけれど、音楽番組でも何でも聞けるし、栗山町以外の情報という参考になる話ではないけれど、面白いなと聞いています。

町長：第一義的には、やはり災害時に町民の皆さんへの情報伝達手段というのが第一義的な目的で、FM局を作るということで全世帯に小型のラジオを配付、それは災害時にこちらから特別に情報を出す場合はスイッチが入ってなくても自動的に起動するラジオということで、災害の情報だとか、色々なものはお知らせができるかなというふうに思っています。今、お話いただいたように、日常的にいつも災害が起きるわけではありませんが、いかに地域コミュニティーなどを高めていくために、色々な放送というか、番組編成をやるかというところもあるのですけれど、これから検討していくことになります。ただ、北広島市でパーソナリティーをやっている人が、地域おこし協力隊で栗山に入っている

のです。その人のノウハウを活かして、ラジオ番組などを作りたいなと思っています

町民：北広場市のボールパークについて、その人の話も聞いているのだけれど、結構はつきり物を言うし、やはりボールパークのイメージが強いです。栗山でどういう取り組みをするかにもよると思います。

町民：数年前にまちづくりの中で、道の駅を作るという発想をされたのが記憶にあるのだけれど、それ以来ずっと道の駅という話がないし、最近だって、追分にある安平の道の駅は、私が考えていたよりもお客さんが来た。確かに今回、コロナだから札幌圏の人がそこにいるのが嫌で、近場の道の駅に分散したという話があるのは聞いているのだけれど、思ったより集客はできているので、できれば俺もあちこち道の駅を回って、一つの道の駅がぼつんとあるよりは、二つも三つも揃っているところはお客さんが行きやすいので、ちょうどいい機会なのかなと思ったけれど、今回は何の話もないし、逆に今はレンガ倉庫が道の駅みたいで、関係がもったいないというか、中途半端というか、町長自体は道の駅というものをごどう考えているのでしょうか。

町長：一期目の公約に、道の駅の整備検討について入れていたのです。それで一応国道 234 号のからみで公約をあげたというところがあります。今回作る栗山駅南交流拠点施設というのは、道の駅というよりは町民としての賑わいの拠点を作っていく、集客も求めていくというところがありますけれど、いろんな機能を持たせながら、FM だとか、DIY 工房といった機能を持たせて、一つの拠点として考えています。道の駅については、まったく別の考え方をしていまして、僕としてはできれば 234 号が今回拡張の兆しが少し見込みが出てきたので、そこが拡張されると当然、栗山公園野球場がかかるのです。そうすると公園野球場は少年野球にどんどん使われていますので、それを移転して、例えば富士の公園の一带のところに移転して、そこに空いたところが道の駅の整備候補としてあるかなというふうに考えています。ですから、ぼつんとあったり、ただ車で寄って休憩してトイレをしてという道の駅には、最初は来ますけれど、2 回 3 回とリピーターが来るということとはほとんどないのです。ただ、栗山のあそこに道の駅ができると、栗山公園が隣接しますので、1 日遊べる道の駅となるのです。今、日本で 1 番集客のある道の駅は、本州の方で高速道路についている道の駅で、公園だとか、色々な付随する施設がある、そういったところはかなり人気があるのです。そこと匹敵するぐらいの道の駅が、栗山の場合は作れる可能性があるというふうに考えていますので、できればこの 234 号の拡張と併せて整備して、他と差別化できる、朝来たら、1 日中遊んでいられるような道の駅ができれば良いなと、構想のような段階ですけど、そんなことを考えています。そうすると栗山駅の今度作る施設と、道の駅とが点と点でつながり、栗山は色々なものがあるので、それを線で結んで周遊していただけるような PR の仕方があるかなと考えています。

19：52 終了